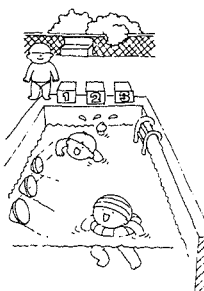


3 取付場所の選定

①. 地絡保護方式の種類と比較

JEAG 8101 抜すい

漏電しゃ断器

保護方式		接触状態					
		第一種	第二種	第三種	第四種		
		危険度—最も高い	危険度—非常に高い	危険度—高い	危険度—低い		
							
		● 人体の大部分が水中にある状態 (例) プールの水中照明など	● 人体が著しくぬれた状態 ● 金属製の電気機械器具に人体の一部が常時接触している状態 (例) トンネル工事現場など	● 第一種、二種以外の場合で、通常の人体状態において、接触電圧が加わると危険性が高い場合 (例) 住宅・工場・事務所などの電気機器自動販売機	● 左記の状態において接触電圧が加わっても危険性が低い場合 ● 接触電圧が加わるおそれのない場合 (例) 住宅、工場、事務所などの一般的場所で人が触れるおそれのない場所の電路及び保護接地を要しない電路	r : 保護接地抵抗の最大値 (Ω) E : 低圧電路の使用電圧 (V) R_2 : 低圧電路の第2種または中性点接地抵抗 (Ω)	
		接触許容電圧 2.5V以下	接触許容電圧 25V以下	接触許容電圧 50V以下	接触許容電圧 制限なし		
保護 接地	第一級 (許容接触電圧 25V)	×	○	○	○	$r \leq \frac{25}{E-25} \cdot R_2$	この条件を満足させる接地抵抗値はとりにくいので、完全な感電防止策とはいえない。
	第二級 (許容接触電圧 50V)	×	×	○	○	$r \leq \frac{50}{E-50} \cdot R_2$	
	第三級 (許容接触電圧 制限なし)	×	×	×	○	$r \leq 100$	
漏し や 断 電 器	電流動作形	○ 5mA, 15mA以下0.1秒以内 高感度高速形に限る	○ 15mA以上30mA以下 高感度高速形に限る	○ 15mA, 30mA, 50mA, 100mA 時延形を除く	○ 50mA ~ 1000mA	漏電・感電による電気災害の一番効果のある防止策である。	

○印は各接触状態において、保護方式が適用できるものを示す。但し、第1種、第2種接触状態の場合は漏電しゃ断器と保護接地の共用が必要です。

×印は単独では適用できないものを示す。